



国宝探訪XI 姫路城 その十一 ～城郭門 高麗門～

最初の大門である菱の門を抜けるとその先には「いの門」が立っています。

この形状の門は「高麗門」と呼ばれ、文禄・慶長の役(1592~98)の頃に考案された日本独自の門で、朝鮮半島に築いた倭城の城門として使用されたことからこの名があるといわれています。従来の門では軒に敵が隠れやすいという欠点を克服した画期的な城門で、従来の棟門や薬医門の派生形と考えられるもので、3つの屋根から構成される点に特徴があり、その後日本の城郭の最も代表的な城門となりました。慶長期にみられる旧式のもの、江戸城のような元和期(1615~24)以降の新式のものがあり、姫路城の高麗門は、鏡柱上にのせた冠木に直接屋根を載せる構造で、この門の出現当初の慶長期に見られる旧式のもので、城内には6門現存しています。

(写真・文：西嶋 宣久)

10月の活動報告

- 10. 2 (金) 理事会 (姫路建設会館)
- 10.15 (木) 構造学習会 (姫路建設会館)
- 10.22 (木) 建築相談 (姫路市役所)
- 10.28 (水) 建築模型作り体験講座 (ものづくり体験館)
- 10.29 (木) 建築模型作り体験講座 (ものづくり体験館)

11月の活動予定

- 11. 2 (月) 建築模型作り体験講座 (ものづくり体験館)
- 11. 9 (月) 建築模型作り体験講座 (ものづくり体験館)
- 11.19 (木) 構造学習会 (姫路建設会館)
- 11.26 (木) 建築相談 (姫路市役所)

活動報告

[第7回構造学習会] 10月15日(木)



10月15日(木) 第7回構造学習会を開催しました。今回から3回に渡り、「木造限界耐力計算」について、(公財)兵庫県住宅建築総合センター 構造計算適合性判定センター判定長 四宮忠明先生に解説していただきます。第1回目は、限界耐力計算のそもそもの考え方を解説していただきました。解放工学的基盤から表層へ地盤種別による増幅率との関係、加速度応答スペクトルとはどういうものなのか?詳しく分かりやすく説明していただきました。出席者は13名で皆さん熱心に聴講されていました。以上ご報告申し上げます。

(報告：石原 弘一)